TADOKU JUNIOR　イソップ物語　★★★☆☆ ふつう　441語

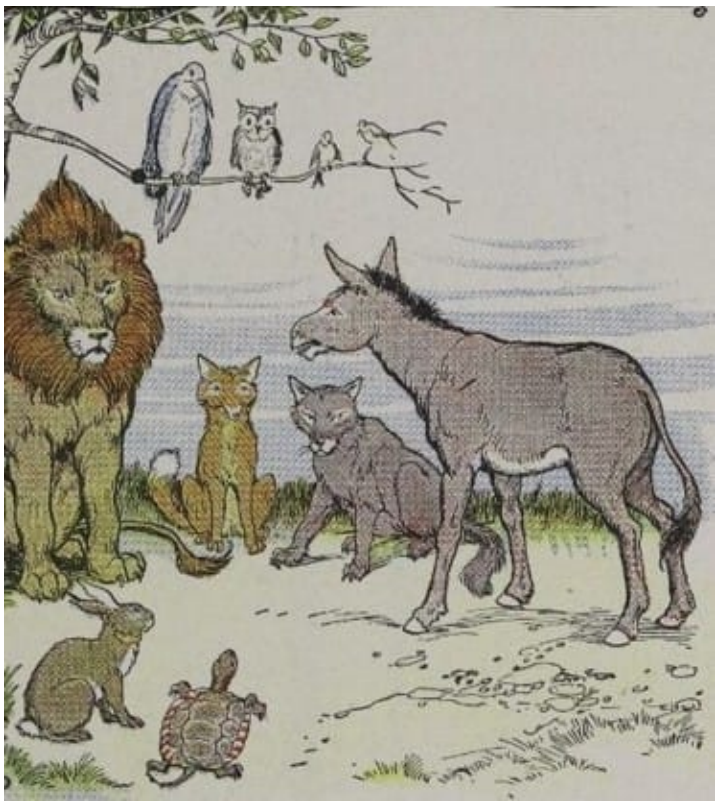
The Animals and the Plague

動物たちとはやり病

Aesop（1919年の本）　**原文そのまま**　朗読：Claire Schreuder

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？　はやり病にくるしむ動物たち。ライオンは「一番悪いことをした者をさがそう」と言い出し、みんなが自分の悪いことをうちあけていきます。



Once upon a time a severe plague raged among the animals. Many died, and those who lived were so ill, that they cared for neither food nor drink, and dragged themselves about listlessly. No longer could a fat young hen tempt Master Fox to dinner, nor a tender lamb rouse greedy Sir Wolf's appetite.

At last the Lion decided to call a council. When all the animals were gathered together he arose and said:

"Dear friends, I believe the gods have sent this plague upon us as a punishment for our sins. Therefore, the most guilty one of us must be offered in sacrifice. Perhaps we may thus obtain forgiveness and cure for all.

"I will confess all my sins first. I admit that I have been very greedy and have devoured many sheep. They had done me no harm. I have eaten goats and bulls and stags. To tell the truth, I even ate up a shepherd now and then.

"Now, if I am the most guilty, I am ready to be sacrificed. But I think it best that each one confess his sins as I have done. Then we can decide in all justice who is the most guilty."

"Your majesty," said the Fox, "you are too good. Can it be a crime to eat sheep, such stupid mutton heads? No, no, your majesty. You have done them great honor by eating them up.

"And so far as shepherds are concerned, we all know they belong to that puny race that pretends to be our masters."

All the animals applauded the Fox loudly. Then, though the Tiger, the Bear, the Wolf, and all the savage beasts recited the most wicked deeds, all were excused and made to appear very saint-like and innocent.

It was now the Ass's turn to confess.

"I remember," he said guiltily, "that one day as I was passing a field belonging to some priests, I was so tempted by the tender grass and my hunger, that I could not resist nibbling a bit of it. I had no right to do it, I admit—"

A great uproar among the beasts interrupted him. Here was the culprit who had brought misfortune on all of them! What a horrible crime it was to eat grass that belonged to someone else! It was enough to hang anyone for, much more an Ass.

Immediately they all fell upon him, the Wolf in the lead, and soon had made an end to him, sacrificing him to the gods then and there, and without the formality of an altar.

> **The weak are made to suffer for the misdeeds of the powerful.**

むかしむかし、動物たちのあいだに、おそろしいはやり病が広がりました。たくさんの動物が死に、生きのこった者もひどく弱って、食べることも飲むこともしたくなくなり、元気なくのろのろと歩きまわっていました。もう、太った若いめんどりを見ても、キツネは食べたいと思わなくなり、やわらかい子ヒツジを見ても、くいしんぼうのオオカミのおなかはすきませんでした。

とうとうライオンは、みんなで話し合いをしようと決めました。動物たちがみんな集まると、ライオンは立ち上がって言いました。

「みなさん、わたしが思うに、神さまはわたしたちの悪いおこないのばつとして、このはやり病をおくられたのです。ですから、わたしたちの中で、一番悪いことをした者を、神さまにささげなければなりません。そうすれば、ゆるしてもらえて、みんなの病気もなおるかもしれません。

「まず、わたしが自分の悪いことを全部うちあけましょう。白状すると、わたしはとてもくいしんぼうで、ヒツジをたくさん食べてしまいました。ヒツジたちは、わたしになにも悪いことをしていなかったのに。ヤギも、ウシも、シカも食べました。本当のことを言うと、ときには、ひつじかいをおそってしまったこともあります。

「さて、もしわたしが一番悪いのなら、わたしはささげものになるかくごはできています。でも、わたしと同じように、一人ひとりが自分の悪いことをうちあけるのが一番だと思います。そうすれば、だれが一番悪いのか、正しく決めることができるでしょう。」

「王さま」とキツネが言いました。「王さまは、あまりにおやさしすぎます。ヒツジなんて、あんなまぬけな連中を食べることが、悪いことであるはずがありません。いえいえ、王さま。王さまに食べてもらえて、ヒツジたちはとてもめいよなことだったのです。

「それに、ひつじかいについて言えば、あれはわたしたちのご主人づらをしている、ひよわな人間たちのなかまだと、みんな知っていますよ。」

動物たちはみんな、キツネに大きなはくしゅをおくりました。それから、トラも、クマも、オオカミも、あらあらしいけものたちはみな、とても悪いおこないを話しましたが、みんなゆるされて、まるで聖人のように、つみのないものとされてしまいました。

さて、こんどはロバがうちあける番になりました。

「おぼえているのですが」とロバはすまなそうに言いました。「ある日、おぼうさんたちの畑のそばを通ったとき、やわらかい草と、おなかのすいたのにがまんできず、ほんの少しかじってしまいました。わたしにそんなことをするけんりはなかったと、みとめます――」

けものたちは大さわぎをして、ロバの話をさえぎりました。こいつこそ、みんなに不幸をもたらした悪者だ！ほかの者の草を食べるなんて、なんておそろしいつみだろう！だれだって重いばつを受けて当然のつみだ、ましてやロバならなおさらだ。

すぐに、オオカミを先頭にして、みんなはロバにとびかかり、たちまちやっつけてしまいました。祭だんもととのえないまま、その場でロバを神さまへのささげものにしてしまったのです。

力の強い者の悪いおこないのために、弱い者がひどい目にあわされるのです。

たんご と クイズ 動物たちとはやり病

Lion ライオン	**hen** めんどり	**lamb** 子ヒツジ
sheep ヒツジ	**Tiger** トラ	**Bear** クマ
grass 草	**Ass** ロバ	

Q1 みんなを集めて話し合いをしようと決めたのは、だれ？

① ライオン　② キツネ　③ ロバ

Q2 ライオンがヒツジを食べたと話したとき、キツネはなんと言った？

①「王さまが一番悪い」　②「それは悪いことではありません」　③「ヒツジにあやまって」

Q3 ロバがうちあけた悪いことは？

① ヒツジを食べた　② ほかの者の畑の草を少しかじった　③ うそをついた

こたえ

Q1 ①　はやり病がつづくので、ライオンがみんなを集めて話し合いをしようと決めました。

Q2 ②　キツネは、ヒツジを食べるのは悪いことではない、と王さまのライオンにおべっかを言いました。

Q3 ②　ロバは、おなかがすいて、おぼうさんたちの畑の草をほんの少しかじったことをうちあけました。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #19994（Aesop、1919年）。パブリックドメイン。
挿絵：Milo Winter（同じ本の初版の挿絵。パブリックドメイン）
朗読（Web版）：Claire Schreuder（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。